

美術の窓(170)

大英博物館蔵の2種の広重作品

大和文華館館長 浅野秀剛

今年の夏は、あべのハルカス美術館の「広重一摺の極一」展(7月6日～9月1日)を開催し、それとはほぼ同時に、大和文華館で、「レスコヴィッチコレクションの摺物一ぱりから来た北斎・広重・北溪・岳亭一」展(7月9日～9月1日)を開催し、無事終了。これから、お借りした作品の返却というタイミングでこれを書いている。

7月の「広重」展開幕直後、イギリスに出張した。北斎館とセインズベリー日本美術研究所が主催するシンポジウム「シン複製画」にパネラーとして参加するためである。セインズベリー日本美術研究所は、ロンドンから電車で北に2時間のノリッジにあり、そこでシンポジウムが開催されると思いきや、さらに北にバスで1時間行った港町のウェルズネクストザシーにあるウェルズモルティングという文化と観光を兼ねた複合施設が会場だった。そこで開催されている Hokusai: A Vision Above という展覧会に合わせた企画で、こんな所で日英の共同企画が、と、私にとってはかなり驚きのシンポジウムであった。

シンポジウム終了後、ロンドンで旧知の大英博物館を訪問、これまた旧友のティモシー・クラークさんの案内でいくつかの作品を見せていただいた。クラークさんは既に退職しているが、私のために時間を割いてくれたのである。

リクエストした作品の一つが、伝二代広重筆の「山水人物雑画」1帖。25図からなる紙本着色の肉筆画で、以前何度か拝見したことがあり、広重の落款があるが、初代から3代まで、どの広重のものであるか確定していない。「広重」展で、山梨県立博物館蔵の甲府道祖神祭幕絵2点を展示させていただき、その関連で確認したいことがあった。

現存する広重筆の甲府道祖神祭幕絵は、「東都名所 目黒不動之瀧」と「東都名所 洲さき汐干狩」の2枚である。前者は初代広重筆、後者は二代広重筆とされているが、両者とも初代が天保12年(1841)の甲府滞在の折に制作した幕絵が原形であることは疑いない。前者は原形が残り、後者は、原形が破損したため二代広重が写したものとされてきた。ただし、それ以上の根拠はなく、両者とも初代、また、両者とも二代、さらに「目黒不動の瀧」が二代で、「洲さき汐干狩」が初代の可能性すら捨てきれない。私が2枚を実見して感じたのは、両者は同一の筆者であり、両者とも初代広重筆ではないかということである。その最終判断は作品そのものの分析によるしかない。考えられるのは、筆跡と絵具の分析であるが、私は絵具の分析はできないので、筆跡を検討してみたのである。

そこで比較のために使ったのが、伝二代広重筆「山水人物雑画」であった。詳細は図録を参照していただきたいが、問題は、「山水人物雑画」が二代広重筆であるというのは確実ではないということである。7月に実見しても、初代ではないと納得はしたが、恥ずかしながら、二代か三代かは分からなかった。

その時、クラークさんは、やはり広重落

款の下絵帖(30×18cm、図は30×36cm)を私に提示し、「こういうのもありますよ」と言った。それは、伝三代広重画とされている、四季の江戸名所を描いた10図であった。肉筆画帖か版画の下絵のようであるが、よく分からない。明治的な要素はなく江戸風俗であるが、初代広重ではないと思った。しかし、よく描けている。私は、「二代かな」と曖昧なことを言いつつ、写真に撮って帰国した。

8月に入り、それらを少しずつ検討したところ、今では、「山水人物雑画」と下絵帖は、共に三代広重画と考えている。展覧会をすると、多くの場合、終わってから間違いや訂正したい部分が出てくるが、これもその一つとなった。「広重」展図録

では、「山水人物雑画」を二代広重画とし、甲府道祖神祭幕絵が二代広重筆ではない、という根拠の資料として用いたのである。

「山水人物雑画」と下絵帖を三代広重画と思ったのは、主として、版画との筆跡の比較の結果である。この欄で詳述することはできないが、いくつかを図示してみたい。図1が「山水人物雑画」(1983.11111.0.1.1-25)の筆跡、図2が下絵帖(1913.0501.0.290.1-10)の筆跡、図3が、三代広重画「東京名勝図会」(大判錦絵、明治1～6年刊)の副題(部分)の筆跡である。

図1.2 大英博物館蔵

図3a,b,d 東京都立中央図書館蔵

図3c 国立歴史民俗博物館蔵

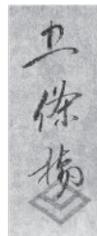


図1a



図1b

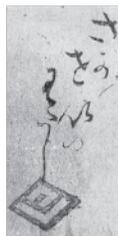


図1c



図2a



図2b

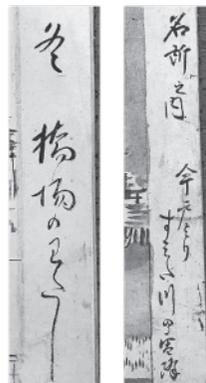


図2c

図2d

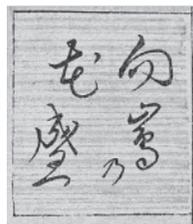


図3a

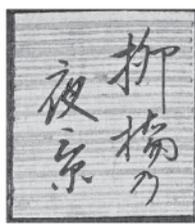


図3b

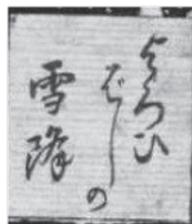


図3c

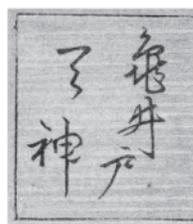


図3d

季刊 美のたより No.228

令和6年10月4日

発行 大和文華館